

防災への意識改革拡大版

# 風水害に備えるために

## 屋 内



- 台風、雨風に関する気象情報、町や防災関係機関などからの情報を聞く。
- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をする。



- 断水に備えて飲料水の確保をする。
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備をする。
- 浸水のおそれがある場合は、家財道具などを高い場所へ移動する。



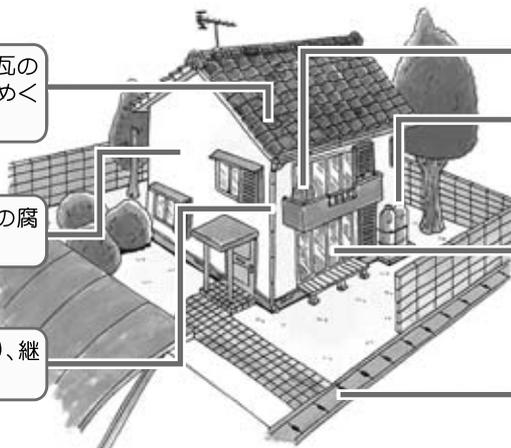
- 被害が予想される場合は、高齢者、乳幼児、病人などは安全な場所に避難させる。
- 家族で避難場所や一緒にいない場合の連絡方法を確認する。

## 家のまわり

- 雨戸のがたつきや緩み、屋根(瓦のひび割れ・ズレ・はがれ、トタンのめくれ・はがれ)の点検・補強をする。

- 外壁(モルタル壁の亀裂、板壁の腐りや浮き)を点検する。

- 雨どい(落ち葉や土砂の詰まり、継ぎ目のはずれ)を点検する。



- 鉢植えや物干しざおなど飛散の危険性が高いものは室内へ移動するか固定する。

- プロパンガスのボンベを固定する。

- 窓ガラス
  - ・ ひび割れ、窓枠のがたつきの点検・補強をする。
  - ・ 強風による飛来物に備えて、外側から板でふさぐ。
  - ・ 強風対策として、サッシ枠も含めガラスにガムテープを張る。

- 側溝、排水溝を掃除して水の流れをよくする。

## 危険な土地では早めの避難態勢を

### ● こんな土地では細心の注意を

#### 造成地

丘陵を切り崩して造られた造成地では、地質・地形が不安定なので、豪雨に見舞われると地盤がゆるみ崩れる危険が。水抜き穴から濁り水が出始めたら要注意。



#### 急傾斜地

がけ(急傾斜地)では集中豪雨などで斜面が崩れ落ちる危険がある。家の近くに斜面がある場合は、その危険性を認識し、避難の準備は早めに。



#### 川沿いの土地

川沿いに限らず、水路などの流下能力以上の降雨があった場合には、川から離れている場合でも浸水被害(内水はん濫といいますが)が発生する場合がありますので注意が必要です。

